

第4章(都市・地域づくりの方針)(素案) 一覧表

方針		テーマ		掲載頁	目標
全市レベルの方針	方針1 自然・田園と市街地が共鳴する都市新潟	田園と市街地の共生・共鳴	市街地を包み込む多様な田園・自然環境をすべての市民にとっての貴重な財産として守り・育み、田園と市街地がそれぞれの恵みをお互いに享受し合う、共生・共鳴する都市をつくるための方針	P1	目標 1-1 豊かな自然環境を保全管理し賢明な利用を図る
				P3	目標 1-2 環境に配慮した都市づくりを実践する
				P4	目標 1-3 水辺・田園・緑を保全・創造し、自然の潤いを感じられる都市づくりを行う
				P6	目標 1-4 自然・田園と調和した都市景観を形成する
				P7	目標 1-5 将来にわたり適正な市街地規模を維持する
	方針2 個性ある日本海拠点都市新潟	都市・地域の拠点形成	港湾・空港や都心、地域の拠点などの機能強化を図り、複数の核の形成を図るとともに、各地域の歴史や自然、文化などの地域資源を活かして、個性的で魅力的な都市をつくるための方針	P9	目標 2-1 国際的な核をつくる
				P11	目標 2-2 広域的な交流の機会を増やす
				P12	目標 2-3 都市や地域の中心をつくる
				P15	目標 2-4 土地の有効利用を図り都心や地域のまちなかに活気をもたらす
	方針3 地域をつなぐ誰もが移動しやすい都市新潟	地域や拠点の連携強化	地域や拠点の機能分担と連携を支える、人やモノの流れを担う交通のネットワークとサービスの強化に取り組み、誰もが移動しやすい都市をつくるための方針	P19	目標 3-1 各地域の機能や魅力を相互に補完する道路及び公共交通ネットワークを強化する
				P22	目標 3-2 市民や来訪者が公共交通機関を有効に活用する
				P24	目標 3-3 環境や人にやさしい道路及び移動環境をつくる
	方針4 活力ある産業・交流都市新潟	都市活力の向上	新潟の多様な地域資源を活かし、産業活動の活性化や交流人口の拡大を図るとともに、都心の拠点性を向上させることで、活力ある都市をつくるための方針	P26	目標 4-1 ビジネス環境の多様な変化を捉え、魅力ある産業の創出を図る
				P29	目標 4-2 多くの資源を発掘し、より長く幅広く新潟を体感してもらう
				P31	目標 4-3 公民が連携して「稼げる都心」をつくる
方針5 安全で安心して暮らせる都市新潟	安全・安心の確保	市民生活や都市活動を安心して営むことができるようにするため、都市づくりの基礎となる、自然災害に強い都市をつくるための方針	P33	目標 5-1 多様な自然災害に強い都市空間の整備を推進する	
			P36	目標 5-2 自助・共助・公助が連携し都市防災力を高める	
生活圏レベルの方針	方針6 それぞれの地域で質の高い暮らしができる	日常生活の利便性向上	市民生活の要となるまちなかの機能を強化するとともに、地域内の移動をしやすくすることで、日常の暮らしが支障なく送ることができる生活圏にしていくための方針	P38	目標 6-1 便利なまちなかをつくる
				P42	目標 6-2 生活圏で快適に移動できる
	方針7 それぞれの地域の個性を守り・活かすことができる	地域の個性を守り・活かす	農村と市街地の交流などにより生活やビジネスの新たな価値の発見と活性化につなげるとともに、地域への愛着と誇りを育むことで地域の個性を守り・活かしていくための方針	P44	目標 7-1 都市と農村の交流で、新たな価値を見出す
				P46	目標 7-2 歴史・文化的資源を再発見し誇りを持つ
				P47	目標 7-3 地域を特徴づける美しい風景を保全・活用する
	方針8 快適な住まいで暮らすことができる	快適な住まいと暮らし方	生活スタイルや家族構成、暮らし方や働き方など、多様化するニーズに応え、将来にわたり良質なストックとなるような住宅や住環境を整備するための方針	P49	目標 8-1 高齢者や子育て世代、若者、外国人など多様な市民のライフスタイルに応じた暮らし方ができる
				P51	目標 8-2 使いやすい住宅、長く使える住宅で暮らせる

注：方針及び目標の内容及び名称は、今後の検討により変更される場合がある